

◆ さよなら武徳殿 滋賀県体育文化館 お別れ会 H30年3月25日

○目的

昭和12年（1937）に大日本武徳会滋賀支部の武道場として建てられた武徳殿（滋賀県体育文化館）。これまで滋賀県は中活協議会と協議のもと、武徳殿を保存活用した県庁周辺の活性化を検討してきたが、専門学校を含む医療福祉拠点として整備するという構想の変更。このことで、この春、武徳殿は解体されることとなった。そこで、あらためて、県庁周辺の賑わいについて、ふり返りつつ、未来を考えながら、記憶保存されることになった次の計画に盛り込む武徳殿の「価値」や「思い出」も収集することを目的に、協議会内に実行委員会を設置し、3月24日（土）に有識者による勉強会、翌25日（日）に1日限りのお別れイベントを実施した。

○当日の様子

600人近くの方々に参加いただき、40名近くの方から「思い出」（写真、映像を含む）を収集した。なお、収集した「思い出」は大津市歴史博物館に帰属させ、将来の柔軟な活用に備えることとした。



▲憩いブースを設け来場者に対応



▲思い出シートを見る方々



▲最後に稽古する大津柔道協会の方々



▲地域の方々、建築好きも自由に見学

○今後の課題

当初、武徳殿を保存活用の上、県有地を活用する案で進んでいたが、医療福祉拠点とすることに方針変更した県は専門学校を付設することで、地域の活性化に寄与すると説明。現在、整備予定地にある県教育会館の運営団体との退去交渉が滞っているため、医療福祉拠点の整備が遅れているが、整備構想をしっかりと進めていくことと、地域の景観のひとつだった武徳殿の記憶保存をしっかりと進めていくよう、今後も見守ることが必要である。